

新春の市街地を駆け抜ける

第25回元旦マラソン

好天に恵まれた1月1日、第25回元旦マラソンが市役所本庁舎周辺の市道をコースに開催され、市民らおよそ150人が1年の走り初めを楽しみました。

この大会は、市民の体力向上や健康で豊かなまちづくりを目的として昭和57年に旧鷹巣町陸上競技協会の主催で始まったものです。中央公民館で行われた開会式では、村上憲一大会会長や来賓からの激励のあいさつに続いて佐藤健太さん（鷹巣中学校陸上部1年）が選手宣誓、その後、参加者らはスタート地点に移動し、距離2キロのファミリーコース、距離4キロのチャレンジコースの2部門で新春の市街地を駆け抜けました。



それぞれの願いや夢を胸に刻み走り初め

今年1年良い年でありますように

倉ノ山元旦登山会

初日の出を拝もうと、米内沢の倉ノ山（標高314m）で元旦登山会が行われました。この会は、倉山会（庄司善男会長）が主催するもので、60年以上続けられている元旦恒例の伝統行事となっています。

今年も今年とあって参加者22人とともに犬一匹も同行。一行は米内沢神社を出発し、倉ノ山山頂にある三吉神社を目指しました。途中、急な勾配と腰ほどもある積雪で、険しい道のりながら約1時間半で無事山頂に到着。風もなく穏やかな天気にも恵まれ、参加者はご来光を仰ぎ、今年の無事を祈りました。感動の一瞬で迎えた2006年が良い年でありますように！



積雪量は例年の3倍、それでも近年になく天候に恵まれ初日の出を拝むことができた元旦登山



綴子上町・下町大太鼓保存会による合同演奏

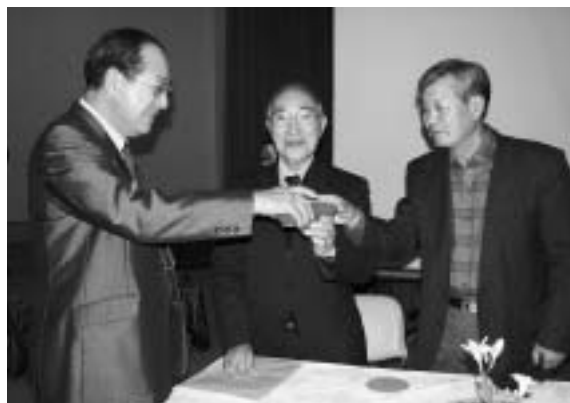
新市発展の願いを込めて

平成18年大太鼓たたき初め

新春恒例の「大太鼓たたき初め」が1月2日、大太鼓の館で行われ、綴子大太鼓が1年の景気付けに大音響をとどろかせました。

たたき初めは、大太鼓の館とぶっさん館への千客万来、施設での無事故などを祈願するため毎年2日に行われているもので、綴子上町・下町の大太鼓保存会をはじめ、市や観光・物産関係者らが出席、また、見学者も含め、およそ100人がセレモニーを見守りました。

神事に続いて、下町、上町大太鼓保存会がそれぞれ2張の大太鼓を順に演奏、最後には上下合同で4張の大太鼓が同時に打ち鳴らされると、そのズシンと響く大きな音に、見学者に訪れた帰省客らも驚いていた様子でした。



こくのある味に仕上がったどぶろくに舌鼓を打ち完成を祝ったお披露目会

自家製のどぶろくを阿仁担当温泉で

濁酒「マタギの夢」完成

阿仁担当温泉マタギの湯で12月23日、森吉山の清水とあきたこまちで仕込んだどぶろく「マタギの夢」の完成お披露目会が開かれ、長年の懸案であった自家製のどぶろくが同温泉で提供出来るようになりました。

またぎの里観光開発株の濱田章社長は「この地域のマタギ文化を通じて、じゃんこのどぶろくで心を癒す里づくりを目指したい」とあいさつ。続いて佐々木功常務取締役とどぶろく造りを担当して来た泉明博課長が、濁酒「マタギの夢」の銘々披露を行いました。

出席者はこくのある味に仕上がったどぶろくに舌鼓を打ち、阿仁マタギ太鼓で景気付けして完成を祝いあいました。

松ヶ丘グラウンドへ備品を寄贈

秋田県北部特定郵便局長会

合川支所で12月9日、秋田県北部特定郵便局長会（会長 柴田徳孝琴丘郵便局長）から、合川地区松ヶ丘グラウンドへ折りたたみ式ベンチ10脚とソフトボールベース一式の寄贈があり、贈呈式が行われました。

式では、同会阿仁部会の金田憲司下小阿仁郵便局長が代理贈呈し「各種大会で皆さんに有効に活用して頂きたい」とあいさつ。それに対し松岡合川支所長が「ベンチが無く大変不便だった。これを機にスポーツ振興のため有効に活用したい」とお礼を述べました。

この取組みは、同会が地域貢献活動の一環として、平成12年から行っているものです。



寄贈目録を手渡す金田下小阿仁郵便局長（左から2人目）と北部特定郵便局長会阿仁部会の皆さん

安全な食生活を考えて

合川消費者の会学習会

合川農村環境改善センターで12月20日、合川消費者の会の学習会が開かれ、会員など約40人が安全な食生活について勉強しました。

同会は、昭和58年に発足し、ゴミ問題やリサイクル活動、悪徳商法に対する活動、安全な食生活を考える活動の3本柱により、住み良い地域の実現を目指し活動しています。

はじめに、土濃塚節子会長が「食の安全とは、私たちが生きていく上で避けて通れない問題。私たちにできることを考え、意欲的に学習しましょう」とあいさつ。続いてJAあきた北央比内地鶏部会長・後藤久美さんによる「比内地鶏」の安全な食品へのこだわりと題した講演が行われました。



安全でおいしい比内地鶏について講演する後藤さん